

# 説明書

治療・検査の名称	膀胱尿管新吻合術（左・右・両側）
----------	------------------

## 説明項目

### 1. 診断名（病気の名前と進行度）

膀胱尿管逆流症

### 2. 病気の説明（どこに、なにがおきてどうなっているのか）

膀胱内の尿が尿管口より上流の腎臓まで逆流することで腎盂腎炎や腎機能低下が生じてしまう状態

### 3. 目的および必要性（なぜこの方法が提案されたのか）

膀胱尿管逆流を防止し腎機能の悪化を防ぐため

### 4. 方法（なにをどうするのか）

膀胱内アプローチ:膀胱内から尿管口をくり抜いて引き出し尿管口径の4-5倍の長さの粘膜下トンネルを作成してトンネル内に尿管を通したのちに尿管と膀胱を吻合して新しい尿管口を作成します。術後は尿道バルーンが留置されます。

### 5. 受けた場合の予想される経過（期待されること）

術後2日で尿道バルーンは抜去して自排尿が出たら退院可能です。

### 6. 危険性および起こりうる合併症について（心配されることや副作用）

出血、感染、縫合不全、狭窄、逆流の再発、腎不全などです。

### 7. 合併症発生時の対処について（費用負担もふくめて）

病院の方針に準じます。

### 8. 受けない場合の予測される経過、代替手段（他の治療法）

膀胱尿管逆流の状態が改善せず腎機能がさらに悪化する可能性があります。

### 9. 説明内容の理解と自由意思による同意承諾およびその取り消しについて

いったん同意をされた場合でも、いつでも撤回することができます。やめる場合は、その旨を担当者へ連絡してください。

この手術に同意されるかどうかは、患者様の意思が尊重されます。同意されない場合でも、不利益を受けることはありません。

現在の患者様の病状や治療方針について、他の専門医の意見を聞くことも可能です(セカンドオピニオン)。その際は、ご相談ください。必要な資料をご提供いたします。

10. 緊急時等

速やかに対応いたします。

11. その他

術後創の痛みは麻酔科と協力して、改善に最善を尽くします。

術者： \_\_\_\_\_

**説明者**

説明日：                    年    月    日                    施行予定日：                    年    月    日

診療科名： \_\_\_\_\_ 説明医師氏名（自著署名）： \_\_\_\_\_